

企業様訪問レポート 株式会社三栄金属製作所様



ベトナム人の方が今の日本語レベルがどれくらいなのか。日本語能力検定試験の保有資格など張り出されています。また社員の方の名前がわかるように顔写真に名前がふりがなが書かれています。そしてどの工場に勤務しているかも非常にわかりやすくなっています。これはベトナム人の方への配慮が感じられますね。

ベトナム工場もあって、母国で活躍する人もいれば、日本で活躍する人もおられます。モニターを現地と接続して連携を取るなど驚きの仕組みがありました。

本当に環境が素晴らしい。参考になりますね。



実はホワイトボードには誰がどの工場、こういったポジションにいるのかなど明確に張り出されています。ベトナム人であっても管理職として活躍されています。できる人財であれば国籍は関係なく働ける環境が素晴らしいですね。外国人でも目標が持てる、それが当たり前の環境を作ることが大事ですね。



半分以上がベトナム人という三栄金属製作所様。結婚されて永住権を持つ方もいれば、技能実習生、エンジニアの方、技能実習から在留資格を変更された方など様々でした。働きたいと思ってもらえる環境ができているという事ですね。本当に従業員のことを思った社長の配慮が随所に感じられました。

今回は株式会社三栄金属製作所様へ訪問させて頂きました。外国人財を採用したキッカケは1枚のFAXから始まったそうです。当初は社長も不安だったそうですが、1週間もたつと大丈夫だと確信を持たれたそうです。2007年当時は事例も少なくわからないことがあれば社長自らいろいろな場所へ相談や話を聞きに行かれたそうです。お話を聞いていると本当に社長の人柄が温かく、常に従業員のことを考えておられ会社行事も開催されコミュニケーションがうまく取れているようです。ベトナムの方はやはり明るいですね。笑顔が素敵でした。社長は未来を見据えてベトナム人が独立できる環境をつくり三栄グループとして海外の人との共存共栄を目指しておられました。外国人採用のお手本のように感じ、非常に勉強になりました。